

# 行政視察報告書

令和7年7月14日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 松本 長治

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和7年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和7年7月3日(木)～7月4日(金)
3. 視察場所及び目的
  - ①静岡県富士市  
議会改革の取組について(議会における事業評価等)
  - ②埼玉県所沢市  
議会改革の取組について(議会評価、議員間討議、政策研究審議会等)
4. 調査内容感想等

### ・視察の目的

静岡県富士市・埼玉県所沢市の両市においては、どちらも議会改革において先駆的な取り組みをされており、特に当市議会では行っていない事業評価などについて学ばせていただくことにより、更なる改革のための視点としたい。

### ・視察内容

#### ① 静岡県富士市

静岡県東部に位置する富士市は、富士山の麓、24万5千人のまちですが、富士市議会のお話でまず驚いた点は、議案の審議後に一般質問を行っておられる点です。あまりこのようなケースは聞いたことがありません。

次に事業評価についてですが、6月定例会の会期中に対象事業を選定し、9月定例会において決算審査と合わせ評価を行うとのこと。また、予算決算委員会協議会で決定をするが、対象事業の選定から評価までの具体的な協議は各分科会でやっているとのことでした。

評価の対象としては、

・一般・特別会計は主に予算小事業ごとが対象

・企業会計は主に事務事業

とのことでした。

会派で選定した8事業程度を対象とし、最終的には1・2事業に絞り込み、予算決算委員会で正式に事業を決定する流れとのことでした。

お話を伺うと、事業評価は最初事業の見直しや中止などを判断するためのものであったが、市当局からの説明を聞く中で、必要性や重要性に傾く傾向が出てくる。特に特別会計に対して意見をしすぎることに異議が出ているといった課題が出てきたとのことでした。

特に課題として以下のことがあげられます。

・一般会計において市の小事業は約1000程度あるが、内部管理的なものが多い。

・14年を迎え、評価対象事業の選定に苦勞。(すでに3回選定した場合も)

・企業会計は事務事業が少ないため、拡充や予算の増を求める意見が出やすい。

・一般会計以上に評価対象事業の選定に苦勞。(選定をしなかった年も)

・議員は事業を推進したいことが多い。(拡充や予算の増を求める意見が出やすい)

・評価が真ん中による傾向。

といった課題から、検討を行い次のように変更した。

・選定する事業数は、各分科会で0～2事業とする。(なお、該当事業がない場合は、選定事業なしでもよい。)

・選定する事業の内容をこのように仕分けする。

① 役割を終えた事業

② これ以上効果が期待できない事業

③ 大幅に内容を見直すべき事業

④ さらに効果が期待できる事業

② 埼玉県所沢市

所沢市の面積は 72、11 km<sup>2</sup>で、人口は令和 7 年 5 月 1 日現在 342,791 人であり、以前に日本陸軍飛行場があったことから、「航空発祥の地」とのこと。特に狭山茶が有名なまちです。

今回の視察で最も感銘を受けたのは、広聴広報委員会の広聴と広報の順番。これが正解だと思います。

次に驚いたのは、通年会期制の導入に苦労されたという点。8 年間かかったというお話には、さまざまなご苦労の積み重ねを感じました。

議会評価について、議会事業評価については、議会運営協議会および広聴広報委員会による所管事業の自己評価を行うとのこと。議会改革評価は、議会基本条例に規定する項目を評価・議会改革の成果を、まとめて市議会のホームページで公表するとのことでした。

議会評価導入の経緯と目的は、

- ・一年間の主な事業の総括の機会とする
- ・議会基本条例の進捗確認と総括のため

効果としては、

- ・事業の記録公開と、協議事項の共有が可
- ・事業評価の達成度の明確化

その他の取組みとして、大学との連携協定を締結したことや、市議会独自のマスコットキャラクターの活用をされていること。議会報告会、政策討論会、みみ丸カフェの開催、高校生との意見交換会などの他にも、取組は大変多い。

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

事業評価については、評価が真ん中による傾向という点はよく理解でき、

・役割を終えた事業 ・これ以上効果が期待できない事業 ・大幅に内容を見直すべき事業 ・さらに効果が期待できる事業 といった基準による評価にするこ

